

アカウントマスター for LDAP とは

Linuxベースの統合アカウント管理システム。貴学条件に合わせて柔軟に運用設定できます！

※ 開発元 株式会社コムネット

豊富なアカウント種別に対応

- 個人アカウント ■ ゲストアカウント
- 組織アカウント ■ 期間限定アカウント

環境に合わせたアカウント条件設定

- アカウント自動生成条件
- 初期パスワード自動生成条件
- メールアドレス自動生成（ドメインごと）
- ホームディレクトリ自動生成（ファイルサーバごと）

パスワード管理は独自暗号化

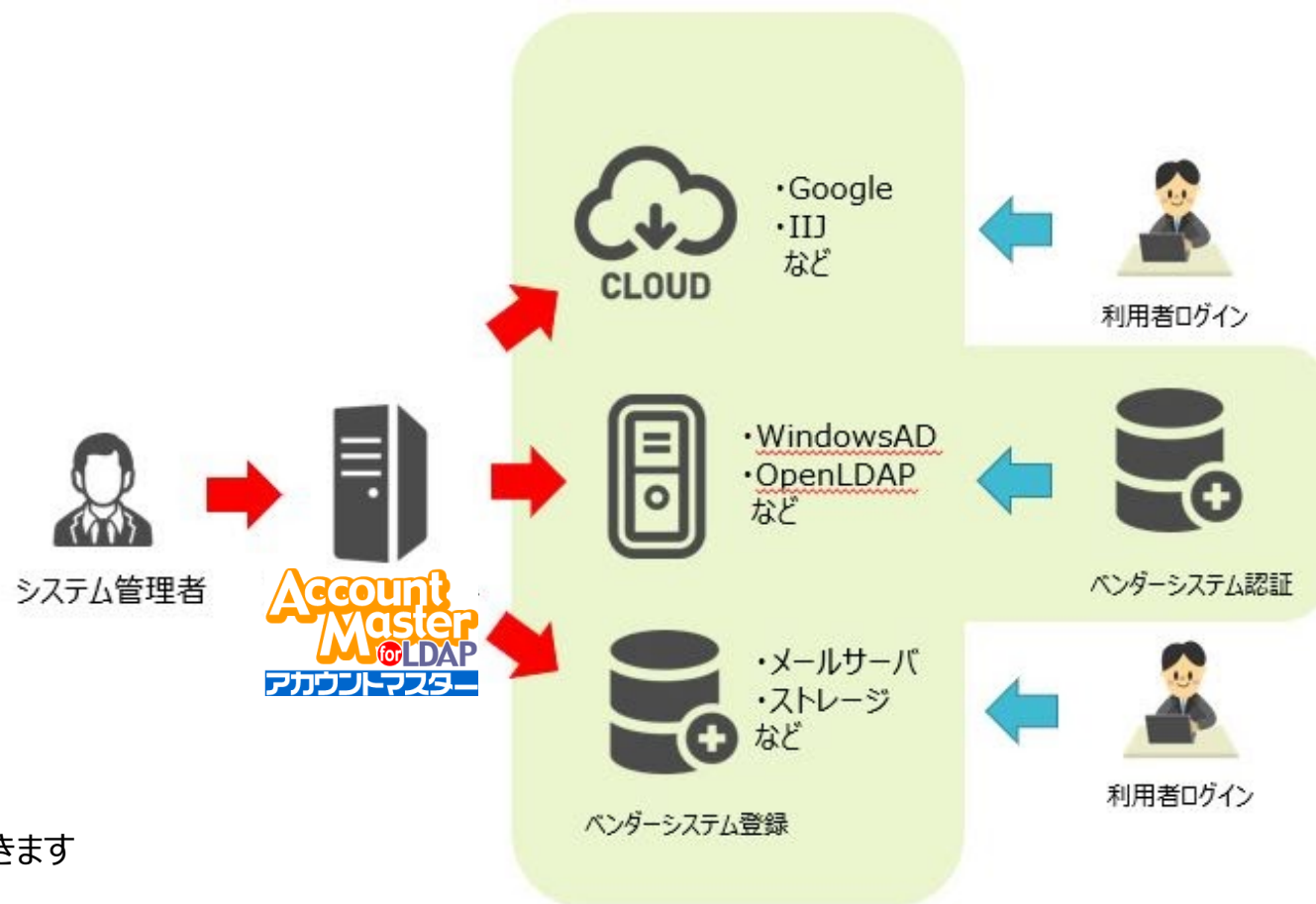
- パスワード管理はエンドユーザに委任
- 管理者であってもユーザパスワードは取得できません

システム管理レベルを分担

- システムの管理者は1人ではありません
- システムの管理権限をグループ化し、各ユーザに割り当てることができます

アカウントやディレクトリを各サーバに配信

- 配信先システムを、所属ごと、役職ごとに設定可能

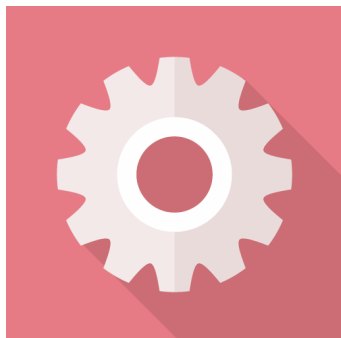


アカウントマスターを介して、様々なシステムへアカウントを配信します！



LDAPだからできること

- 設計当初からOpenLDAPを採用しています。
- LDAP は認証サーバとして広く利用され、検索処理が高速です。
- 認証問合せ先としてLDAPに対応したサービスが多数あります。
- デイレクトリサービスであるため、ツリーごとに各サービスに必要な情報を設定できます。
- パスワードは非可逆暗号形式で保存されています。
- 特定クライアントに対して公開情報を制限するなどACLが設定できます。
- レプリケーションに対応しているため、負荷分散できます。



OSの壁を超える独自のサーバエンジン

- アカウントマスター処理の中核を担うものは、独自のサーバエンジンです。
- 独自の通信プロトコルだからこそ、あらゆるOSからの処理を受け付けることができます。
- アカウントマスターのWeb、Windows端末も、アカウントマスターの通信クライアントの1つです。
- この設計思想の根幹が、これまでも、これからも、マルチベンダに対応できる理由です。



システムとの連携事例多数！

- NetApp
- ActiveDirectory
- DeepMail
- G Suite
- サイボウズ
- ZION
- 人事・教務システム
- 図書館システム
- 印刷管理システム
- 学術認証フェデレーション
- 証明書発行機システム

お問い合わせ先

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

E-mail : sales-pisc@ml.jp.panasonic.com

